

大阪維新の会の主張と大阪市の主張の対比

『橋下徹 改革者か壊し屋か・大阪都構想のゆくえ』吉富有治（中公新書ラクレ・11年3月）より

課題	維新の会「大阪都構想」	大阪市の主張
府と市の関係	・大阪都にして一つにする	・関西州の結果として府は必然的に解消される
市の分割	・今の大阪市を8つに分割し、それぞれを独立した自治体にする	・文化的、歴史的に一体の市をバラバラに分割することは住民無視である ・大都市・大阪の力を失うことになる
二重行政	・大阪都と特別区を設けることで解消	・府と市の役割分担を明確にするだけで解消できる
区の自主性	・独立した自治体とする ・区に区議会を作る。区長は公選	・現行の権限や予算を強める ・区政会議、区政評価のシステムを設ける
区の効率性	・区議会議員の減員、ボランティア制	・今の区制で市民サービスを確保 ・行政効率性はブロック制で高める
広域行政	・大阪都で行う ・そのあとで関西州をめざす	・既存の府県域では限界。関西州で行う視点が不可欠 ・関西州ができるまでは府と市で分担
関西州実現の際の姿	・大阪都を残すか、残さないか不明 ・区をどうするかも不明	・基礎自治体（市町村、大都市）、関西州、国による構造
市町村間の関係	・大阪都が調整機能を有する	・水平連携による協力体制構築
競争力を高める	・大阪都＝現行の大阪府のエリアで競争力を高める	・関西全体でキウ走力を高める視点が今の時代には不可欠
成長戦略	・大規模インフラ整備	・産業構造の転換を踏まえた創造型産業（環境、医療、介護、観光分野）への重点投資